



消火栓設備の総点検

文 中野直樹、写真 大嶋啓靖

66箇所（内訳：庵19、延吉23、北新町3、上町9、中町6、下町3、南新町3）。これは平福地区に設置してある消火栓の数です。船木自治会長（中町）の一言をキッカケに、地域づくり協議会で提案、各自治会の皆様の承諾、消防団への協力要請と日程調整など、協議と準備を重ねて、無事全ての消火栓設備の点検を実施することができました。その後、必要な器具の購入、修繕、設置などは、各自治会ごとに自治会長を中心に対応していただきました。ご協力いただいた自治会および関係者の皆様には、心より厚くお礼申し上げます。

この事業を地域づくり協議会で実施したのは、平福地区7自治会が同じ思いでこれまで以上に「共有、協働、共感」を持ち、今後も協力し続ける一つのきっかけになればと考えたからです。今後も「協働のまちづくり」平福にふさわしく、様々な活動を展開できればと願っています。引き続き地域の皆様の温かいご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



新春歩こう会

文 武田利文、写真 大嶋啓靖

毎年恒例の新春歩こう会が、1月7日に開催されました。89名の方が参加され、地域の皆様と新年のふれあいができました。ありがとうございました。

近年は、コロナ禍の影響でウォーキングのみの開催となっており、少し物足りなさを感じています。より良いイベントにするために内容の見直しも検討したいところです。皆様のご意見をお聞かせください。

平福知ろう会

文・写真 大嶋啓靖

「平福地域づくり協議会の今を知ろう会」は、令和5年7月22日（土）に第1回を開催し、以降1～2か月に1回のペースで計5回開催しました。役場が提唱している「みん活」の一環で、地域づくり協議会のあり方を現状に合わせて見直すことが目的でしたが、その前にまずは、平福地域づくり協議会の「今」について皆で共通認識を持つことから始めようと考えて、会をスタートさせました。

ところが、いざ会議を始めてみると、参加者それぞれが考える理想の地域づくり協議会像についての主張が飛び交い、共通認識を持つどころか、1月21日の5回目を迎えても、意見の収束をみることはできず、私の議長としての力のなさを、まざまざと思い知るに至りました。

ただ、この会が全く無意味だったとはもちろん考えていません。以前は私の中でその輪郭がぼんやりとしていた、自分と異なる意見を持つ人の考え方が、今回の議論を通して明確に認識できたことが、自分にとっては大きな進歩だと思っています。私だけではなく、参加してくれた皆さんも同様に感じていることを期待しています。

「平福知ろう会」（長いので略称にしました）の第6回の開催は今のところ予定していませんが、今回知り得たさまざまな意見をもとに、まずはできることから一歩ずつ、地域づくり協議会の見直しを進めていきたいと思っています。引き続き、皆さんのご支援ご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。



防犯カメラ の設置状況

